

第15回みんなのタウンミーティング会議報告（令和5年度第12回）

- 1 開催日時 令和6年3月16日（土） 午前10時30分～12時00分
- 2 開催場所 市民会館・萌え木ホール
- 3 参加者 市長及び市民11名
- 4 会議次第
  - (1) 開会
  - (2) 市長あいさつ（市政報告）
  - (3) 懇談（フリーテーマ）
  - (4) 閉会

5 懇談内容要旨

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
1	答弁での言葉遣いについて	<p>小金井市議会を見ていると、職員、市長の側で「検討中です」、「考えているところです」、「御意見伺っておきます」と、答弁がみんな逃げ口上じゃないですか。国会の質疑応答の方がはるかに分かりやすいです。</p> <p>Youtubeなんかでは、安芸高田市長が、いろいろ答弁していますが、あの人はこういったような逃げ口上は一切使わない。これを、いいものはまねすると。それなりの回答が市長の頭の中にあるはずなんだから、ちゃんと自分の考えを述べてください。「検討中です」と言う代わりに「全然考えていません」などと言うのが、正しい日本語じゃないですか。</p>	<p>ちょっと厳しい御意見もいただいておりますが、「御意見として承ります」と言うと、分かりにくいということですね。ちょっと議会でも、そういう意見があったということをお話してみたいと思います。検討していることは検討していますと言いますし、検討していないことはまだ検討していませんということも、答弁しております。</p> <p>新しいことを提案されて、例えば私が答弁するときは、まず、初めて伺ったのでそれなりの感想を述べつつも、検討していない中で「やります」「やりません」とは、なかなか言えません。そこは大変申し訳ないんですけども、私は市長として責任を持って答弁をしないといけない立場ですので、何も調整してない中でいい加減なことは言えません。そこもいろいろ苦しみながら、毎回答弁しているところです。</p> <p>ただ、仰ったように「分かりにくい」とか、「もう少し具体的に述べられないのか」という御意見は、私もやりながら感じているところですので、そこは、厳しい御意見をいただきましたので、改めて答弁するときにも、私自身気をつけたいと思います。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
2	市長の思い描く小金井市について	<p>私は、小金井市民になって11年経ちますが、市には全く興味なくサラリーマンやっておりましたが、コロナ禍で在宅ワークが週4ぐらいになり、急に市のことに興味を持ち出しました。それから市報もしっかり読むようにして、市長選挙のときも市長の書いたことを熟読した上で投票に行き、今回このタウンミーティングに初めて参加させていただきまして、市長の書かれていることとかを読める限り読んで来て、過去の議事録も読んで来たんですけど、市長は、すごくちゃんとしたことを書かれています、しっかりとしたことをいつも考えていらっしゃるのだなと感謝しております。</p> <p>ただ、就任して1年ちょっとなので、実行がまだできてないと思うんですけど、市長が考えていらっしゃる理想のこの小金井市をつくっていくためには、あとどのぐらいの期間がかかる、どのぐらいのコストや人員が必要で、それに対して、市の職員の方々にどういったボトルネックがあるのかとか、どういう組織の壁があるのか、どこに1番苦労されているのか、それを突破するためにどうすればいいのか。市長が思い描く市に向かって、僕は行ってほしいと一市民として思っていますので、それにおける何か悩みがあるならば、市全体で共有しながらそこに向かって市全体でつくっていくかなと、本当に良い市にならないと思っております。それが4年という任期じゃ短い、だったら8年頑張りたいと思えるんですけど、そこに向けた展望をぜひお聞かせいただきたい。</p> <p>微力ですけども、一市民としてそこに向けて、何か一助となることができればと心の中で思っているながら何も行動していないという日々がありますけれども、市長に対して応援メッセージを送りたいと、今日参加させていただきました。</p>	<p>過去の議事録とか、過去に書いたものを読まれて、どういう厳しいことを言われるのかと思ったんですけども、ありがとうございます。</p> <p>まずは、展望といたします。今後どういうふうにも私自身が理想、イメージしているものを実現していくのか。その手順も含めて組織の壁とかそういう体制も含めてどうなのかということですね。なかなかちょっと言いづらいこともありますので、ある意味こういう公の場で言うこと言えないことは、たくさんあります。</p> <p>ただ、私自身感じているのは、やはり行政というのは、小金井市だけではなくどこも共通した課題ではあるのかと思うんですけども、なかなか柔軟に対応できない体制もしくは仕組みになってしまっているということが1つです。ただ、小金井市もDX以前にICT化するまで遅れていた自治体なので、その巻き返しが非常に大変で、いま必死になってやり始めてはいるものの、まだ少し遅れをとっていますが、そういったものをやるに当たってアジャイル思考という言葉が、ようやく行政でも使えるようになりました。今年の令和6年度に向けた施政方針の中でも、一応、言葉として入れたんですけども、ようやくそういう発想も語れるようになってきた。ただ、まだそれができているかどうかというのは、これからの課題と思っています。</p> <p>あとはやっぱり、人材育成にもっと力を入れたいとまずいという点です。ここをどうやっていくかというのは、目下、模索中です。結果的に行政は、計画もしくはそういった方針、そういうものをつくった上でやる。これもアジャイル思考とはまた意図が異なるんですけれども。ただ、やっぱり特に、組織や職員に関するということに関して言えば、しっかりとそういうふうなやっつけていくのを示しながらやらないと、結果的には予算もなかなかつけられないということになりますので、人材育成をどうしていくかという考え方を、改めて時間をかけて整理をしないといけないと思っております。ですので、大きくはまず、組織としては、そういったところ。</p> <p>もう一つ。組織改正が、17年、15年ぐらいですか、できてないんです。ですので、もう古いままの体制でやらざるを得ない。この組織改正もやりたいと思っています。組織改正は何かといいますと、小金井市役所というのは、部があってその中にそれぞれの課があります。その縦割りというのが、いろいろ問題にはなりますが、今起こっている問題としては、「どこが担当するのか」みたいな話が結構起こってくるんです。それはもう、組織横断で、今はもう横断しでやらないと仕方がないんですけども、ただ、今の市民ニーズ、「これからの小金井市のまちをつくっていく」というニーズに合っていない組織のまま、今事務をやっているところもありますので、できればガラッと大きく組織改正をしたい。</p> <p>ただ、現状はスペースの問題とかもあってできないんです。これは、ずっと言っていますけれども、4年後になりますが、庁舎の移転のタイミングで組織体制を今からもう検討していくというような話は、もう内部ではやっているところです。</p> <p>あとは、やはり小金井市としての魅力づくりです。これをどうやっていくかというのは、市民の皆さんにもやっぱり協力いただかないといけません。それについては、今おっしゃっていただいたように、まず、ここに参画いただいたことだけでも、本当に私はありがたいと思っています。ある意味これがスタートであるといえますか。すごく重たいことを期待しているわけではなくて、まず、市政の現状分からなければ、それに対して自分が何かをしようという心というのは、やっぱりなかなか芽生えにくいと思っておりますので。</p> <p>もう正直、行政だけで全てのことに対応して多様なニーズに対応できる市民サービスを提供するのは、もう困難な時代になっているというのは周知の事実でありますので、どうやって市民の皆さんに気づいていただいて、何か例えば協働する、協力していただく、もしくは、何かやろうというところを市が支援をするという、こういう仕組みにもっと転換しないといけない。その仕掛けをいろいろ考えたいということです。</p> <p>併せて、市民だけではなく教育機関を含めて、いろいろな団体、場合によっては民間企業も含めて、そういう力を我々がいかに引き出して、うまく市民サービスを提供できる仕組みをつくれるかというところ。こういったことも、小金井市はまだちょっと遅れている現状がございます。なので、何か政策をやるという以前に組織として小金井市役所が、市民もしくはそういった関係団体とどういう関係をつくっていくか、この力、もしくはそのスキル、ノウハウをどう身につけていくかというところが、やっぱり1番大きな壁といたしますか、課題だと認識をしておるところでございます。</p> <p>なので、ちょっといつまでとかなかなかそういったことを申し上げられる状況にはございませんので、その辺はちょっと御理解いただければと思います。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
3	各種事業の必要性について	<p>さっきから聞いていると、話が長い。それと、主な事業、子どもと教育で水泳指導委託事業ってありますけれども、泳げないと誰かが死ぬんですか。これ要りますか。</p> <p>体験型英語学習事業、これ新宿とか池袋に行けばたくさん外国人の方がいらっしやいます。一々お金出してやることですか。要りますか。</p> <p>何でこんなことをやるのか不思議なんですけど、そんなに小金井市、財政豊かでしたか。まず、そういう細かいことから要る、要らないで、無駄なことを一個一個省いて行って、本当に必要なところにお金を回してもらいたい私は思っています。</p> <p>もうだって、行政はキャッシュレスで、人手を省いて人件費省きましようって言うてるんだから、こういう細かいのは、やらなくていいと思います。</p> <p>市報で出ていますが、借金が今これぐらいあって、返すのに何年かかりますと。あなたたちの子どもも返さないといけない。私は今、これはやって、これはやらないですとはっきり言ってやらないと分からない人が多いと思うんです。</p> <p>広島の安芸高田市長さんみたいに、あれぐらい偏差値高くて頭がいい人でもなかなかできないものなんだというのは分かりますけれども、あの人逃げてないです。小学生から対談でも受けたら、ちゃんと小学生に分かりやすく何でこれは事業をやらないんだというのを、はっきりと小学生に分かるように説明しています。それが市長にはないんです。さっき、あれだけ言葉が分からないって意見が出たのに、アジャイルなんて言葉は使っちゃ駄目なんです。日本語で言い換えがあるんだから、言い換えて「素早く」とか、1回日本語で言ってあげればいいんです。</p>	<p>水泳授業、一応説明をしておきますと、学習指導要領で水泳授業をやるということになっていますので、水泳授業はやらないといけないんです。それが、先ほど説明しましたように、暑すぎで、想定している半分ぐらいか、それ以下しか授業ができないというのが現状です。ですので、市として、教育委員会として、責任を持って、学習指導要領に書いてあることは最低限やらないといけませんので、それをしっかりやるために仕組みとして、屋内で試行的にやってみる、ということです。取りあえずという言葉が適切かどうか分かりませんが、1校だけ、まず、モデルでやってみて、その事業の効果・成果を測るということなんです。効果・成果を測るというのは、追加でお金が発生するのは、おっしゃるとおり事実ですので、そこまでお金をかけてこういう仕組みでやる価値があるかどうかというのは、我々はちゃんと検討します。そこで、更に広げるとか、もしくは、やっぱりやらないとか、そういう判断をするときに、それぞれに対して意見がありますので、それに対して我々は説明する責任があります。ざっくりいうと、取りあえず1回やってみる、それで検証しますということです。</p> <p>また、長くなってしまっただ変申し訳ないんですが、体験型英語授業については、いろいろな御意見があるのも私たちは承知しています。ただ、子供たちが育つ時代を、更に大人になる時代を考えて。例えば、新宿に行けば外国人がいらっしやるのも当然ですが、小金井市も実は、外国人の比率が少し増えています。巷にいる人に話しかければいいというのは、仰るとおりなんですけれども、それできない子どもも沢山いらっしやるわけです。それと、やっぱり親の環境によるところもあるので、その差をなくすためにも、英語学習というのは、もう小学生でも学習指導要領で位置づけられています。これからは、筆記とかそういうだけではなくて、文化を体験しながらコミュニケーションができないと仕方ありません。これは教育の部分なんで、私があんまり細かく説明できないんですけれども、実際にそういう体験をすることによって、英語学習というのを身につけさせるというか、そういう親和性を高めていくという機会も必要だと我々は考えています。実際に外国人の方に来ていただいている授業というのがありますが、それだけではなく、しっかりと実体験させるというのを、我々としてはやってみたいと。これは、一応東京都の補助ももらっていますので、市だけのお金でやっているわけではございません。ちょっと今細かくその内訳は出せませんが、東京都からのお金もあるからやってみようというふうになったという事情も少しあります。</p> <p>細かく「要る・要らない」を選定していくということは、私も市議会議員のときにも言っていましたし、やめるということも考えようと、口酸っぱく今、言っている状況です。ですので、やめたこともあるのですが、ここは新しいことをお伝える機会ですので、そのように捉えてください。ただ、「やめるということは、市役所としてなかなか難しい」という声が上がってくるのも事実です。でも、私たちは「これから」を考えて、新しいこともやらないといけないので、「新しいことをやるのだったら、やめるということも同時に考えよう。これを原則としてやっていこう。」という話を今していますので、当然やめる事業ももっと増やしていけないといけないと思っています。</p>
4	総合体育館の屋内プールの部活利用について	<p>総合体育館には屋内プールがございまして、うちの息子は、緑中学校で水泳部に入っていますが、部活とかでは使えないんです。いろいろな条件があるとは思いますが、屋根のある屋内プールってそうそう無いので、何曜日の何時の1時間だけとかで使えるといいなど。各中学校の持ち回りで1時間枠を、市内中学校の水泳部にあれば良いかなど。うちの息子は現地で交渉したけれども、運営が確か民間だから出来なかったです。だけど、その辺りも教育長とかにもお話いただいて、できると良いのかなど。</p>	<p>総合体育館の屋内プールを部活で使えるようにというのは、教育委員会とも相談というか、そういうことが出来るかどうかというのを考えてみたいと思います。過去にそういう打診、検討があったのか分かりませんが、そういう経過も含めて。おっしゃるように、市の施設ですけれども指定管理で民間の企業さんに運営をやっているというので、契約上どうなのかとか色々な整理が必要だと思うんですけれども。学校の授業が暑くてできないという話になっているのに、部活だけ全く無視かという話にはならないかとも思いますので、どういう過去の検討があったのか、もしくはどういう課題があるのか、話し合ってみたいと思っています。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
5	職員の市内居住率について	<p>市職員で小金井市在住の方って3割ぐらいじゃないですか。能登の地震の状態を見ると、行政機能が停止になってしまっていました。小金井市も斜面地がありますから、採用されるときに、在住の方の比率を上げていくことが重要かと思っています。土地勘もあるし隣近所の付き合いもあって。そういったこともありまして、3対7の比率を7対3へということをお考えいただければと思っています。</p>	<p>市長からの回答等</p> <p>小金井市の市内在住職員比率は3割を切っていて、今はもう2割台と聞いています。これは小金井市だけではなく、この多摩地域含めて近隣の自治体は似たりよったり、という話とは聞いています。過去にやはり、市内在住比率を高めるためにはどうするかという提案をしたこともあるし、この間も検討してきた経過はあります。ただ、難しいのは、居住地を選択するのは、憲法で定められていますので、選択の自由です。定められているので、それを条件にするのは、なかなか我々としては、やっぱりできないんです。</p> <p>ただ、今、一般職員の確保自体も、実は厳しい時代になってきました。ですので、どうやれるかは、なお検討はしたいと思いますが、例えば以前、手当を出せばいいんじゃないかという話もしたんです。ただ、それは人件費に加算されます。今、人件費は東京都準拠です。ですので、あんまり独自に加算することができないといいますが、そこを破ってしまうと、色々な問題が生じてしまいますので、人件費に加算しないやり方があるかどうか、みたいなことも含めて、なお検討はしたいと思っています。</p> <p>ただ、仰っていただいたように、地域のことを知っていただくというのは、私は、居住じゃなくてもできることではあると思っています。ただ、実際に災害が発生したときに、それが平日昼間でない限りは、職員が参集できない。なかなか参集できないという課題は、なお続いておりますので、ここについては、災害対策の関係部署ともやり取りをしたいと思っています。</p>
6	新庁舎・(仮称)新福祉会館建設について	<p>白井市長とはずっと話はしてきていますが、副市長への面会を、前回市長に申し入れさせていただいたんですが、お返事がまだないので、ぜひお話の機会を段取りいただきたくという希望を、改めてお話しさせていただきます。ぜひ副市長と白井さんと私3人で会って、きちっと説明したいです。</p> <p>私は、市民案というものをつくった本人です。私がこの2020年の2月に西岡前市長に頼まれてお出ししています。でも、結果としてそれは採用されなかったんです。私は、理屈としては分かるんです。行政が決めてきたことは戻れないということはあるかもしれないですけど、2020年のパブリックコメントについての要望が、4年たっても反映されていない。</p> <p>それから、昨年10月末から11月に行われた市民説明会があります。実施設計を再開するための説明会だというふうに銘打ってお話しをされているんですが、そこで約五十五、何%の方が反対されているんです。中には小学生もいました。議論を聞いて、なぜ比較検討すらしないんですかと白井市長にお話しされたことを覚えていらっしやと思うんです。小学生でも分かる事象が、今、小金井市は、ここまで来たから戻れないということになっていて、今年10月まで実施設計が続くというお話がありました。私は一級建築士で、何百億という設計も行っておりますけれども、小金井市は予算を決めずに進めてこられて、どんどん予算が増えている。すごく言葉は悪いですが、ルーズなんです。必要だから、足し算で予算を加えて行く、特別予算で計上していく、切りがないんです。</p> <p>市民案は、28億円ほど安くできる。総事業費163億円うち94億7,000万が借金でしょう。94億円借金をして、なぜその案にしがみつかなきゃならないのか。あれだけ議員のときにいろいろ改革をして、最大の効果と最小の経費でやらないのはなぜだと仰った白井さんらしくないと思う。</p> <p>私たちの世界で設計の熟度が深まっているというのは、実施設計まで進んでいるから熟度が進んでいるんじゃないかと、市民の意向や予算に合った、工期に合った設計が完了しているかどうかなんです。</p> <p>私を変えろという判断をぜひ行っていただきたいし、いきなり変えなくても、比較検討が必要だと思います。もしそのつもりがないとおっしゃるんだしたら、全市民に対して署名活動をしようと思います。比較検討して、ぜひ市民に問うてください、どちらの案で進めるべきかということをお話をさせていただきます。</p>	<p>副市長との面会については、改めて打診を頂いておりますので、副市長とは話をしてみたいと思いますが、色々な御意見いただいておりますが、もうこの間、説明会も毎回御出席されておりましたので、繰り返し言っても仕方がないのもあります。</p> <p>ですが、少し言わせていただきますけれども、ここに来るまでに7年かかっているんです。小金井市議会も含めて色々な関わりと責任があったらと思うんです。私もその市議会の現場にいましたから、その責任はあったらと思うんです。ただ、誰に、どのような責任、と言いついても切りがありませんので、いろんな経過をたどって今に至るということなんです。</p> <p>私は、やり直すことは出来ないのではなくて、やらないという選択をしています。その理由は、もう述べたとおりです。これまで必要なプロセスを踏んで、設計を含めて進めてきました。一旦止まったこともありましたけれども、再開したというのは、そういうことです。</p> <p>結局、その新庁舎ができる元々の基本計画の予定では、平成31年にもう建っているんです。そこから更にいろいろな曲折もあって、今に至るわけですけども、さっき組織改正の話もしましたが、新庁舎が出来たらということで、もう色々なことが新庁舎完成を待っています。新庁舎が完成することを前提として、色々なことが進んでいるわけです。</p> <p>仮に見直すという判断をすれば、結局またいつになるか分からないという、かなり不安定な状況になります。そうすると、この間も言いましたけれども、本庁舎はもうガタガタで、耐震も庁舎としての基準を満たしていませんので、あそこにもういよいよ手を入れないといけない。手を入れないといけないとなると、手を入れたらしばらくまた使い続けるということにもなります。そういうことも含めて、新庁舎はいつになるか分からないという状況になるんです。</p> <p>そうすると、新庁舎が完成したら色々なことをやろうと、そこを待っていることがたくさんあって、新庁舎が完成すれば、今の庁舎や社会福祉協議会が使っているところも含めて、跡地をどう使うかということも、今後のまちづくりの展開に生かしていくことができるわけです。そこで、市でお金を全てかけてやるというわけじゃなくて、民間の力を借りて、「どう市民サービスに提供できるような機能を導入していくか」みたいなことも、やっぱり考えるわけです。ですので、新しいまたまちづくりのフェーズに移行するためにも、早くやらないといけないということは、ずっと言ってきたとおりです。</p> <p>逆にここで見直すことによって、建設費としては下がるかも知れません。これは分かりません。私としては、今、比較できる状態にはないと思っていますが、仮に見直すとしたら、なるかもしれないけれども、建築物価は若干落ちついたりもしていますが、今後もしも上がる可能性も考えると、時間が経てば経つほど不利な条件になるし、市として余計な出費が更に増えるというのは、これは市民にとっても良くないことだと私は考えています。</p> <p>ですので、今のお金だけを見て高いと言われれば、それに対して、平米単価で言うと別にそんなに高くはないんですけども、もう少し何かできるでしょうという御主張をされているのは分かりますけれども、結局先に延びることによっての負担は、それはそれでまた増大であるということをお話をしておりますので、大変申し訳ありませんが、見直すつもりはございません。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
7	大学と連携した地域の課題解決について	<p>3月15日市報に地域住民から市長へのお願いをまとめたのがあります。こういった課題を1つ1つクリアするのは、市役所単独では非常に難しいかと思えます。私は、こういった地域の課題解決に市が単独でいろいろやるのではなくて、大学を中心に据えて、大学と市と市の中の主要機関とかそういったフォーメーションをつくりながら取り組むっていう考え方はどうなんだろうかと思っています。総務省の予算概要というのをちょっと調べたんですけど、毎年、地域の安心、安全、防災、地域の活性化だとか職員の人材育成とか、必ずこういったものに補助金がついている。総務省的には、市単独よりは地域としての提案が非常に受けやすいと。</p> <p>小金井市は狭い市ですけど、国立大学が2つ、学芸大、農工大、私立として法政の工学部がある。この狭い地域に3つも大学があるというのは、非常にユニークなアドバンテージです。大学側にとっても、大学の存在をいかにPRするかというのが1番大きな課題になっていまして、大学にとっても市にとっても地域住民にとっても、ウィン・ウインの関係構築というのは、そんなに難しい話じゃないのかなと。その延長で、公共施設の在り方の見直しの1つとして、大学だとかを含めて地域連携センター的な機能を持たせて、新たに動かすとか。</p> <p>小金井市はDX、ICTが遅れて、職員の人材教育も問題ということで、例えば法政大工学部とか農工大とかには、優秀な先生もいれば学生もいるんで、一緒になって、実証実験をしながら学んでいく。そのウィン・ウインの関係でやっていけば、高齢者の安心、安全だとか生きがいとかも、ICT、DXといった中から見いだすことができるんじゃないかと思って、市長さんの見解をお伺いしたいです。</p>	<p>大体私も同じようなことは、思っているところでもあります。今、小金井市は、教育機関が多いです。御紹介いただいた3つの大学もありますけれども、例えば市境にも東京経済大学、亜細亜大学、ICUもあります。高校も実は多いんです。ですので、この狭い地域にこれだけの教育機関があるというのは、そこをもっと最大限活用すべきだと私は考えております。</p> <p>今、市内の大学とは包括連携協定というのを結んでおります。例えば、学芸大学さんだと、教員に関すること。もしくは、学校にちょっとボランティア来てもらったり、大学の中にもくせい教室という不登校の子どもたちが通う場所を設置してもらったり、色々なことを実はもうやっていますが、仰ったように、包括的に、1つの大学だけでなく取りまとめた地域連携の仕組みというのは、まだ出てないです。できれば、そういうものをつくりたいというイメージはあるんですけども、まだちょっとそれを具体的にどう進めていくのか、みたいなところまで落とし込めていませんので、ぜひそういうことは、今後具体化できるように考えていきたいと思っています。</p> <p>小金井をフィールドにした実証実験は、まさに私もずっと言っていたことです。すぐに色々なことを、ガラッとできるわけではないと思うんですけども、まず、1つ1つ、そういう積み重ねをやって、そういう文化にしていきたい。ちょっと時間はかかると思うんですけども、そういうイメージは持っているということだけは、お伝えしておきます。</p>
8	双子用三輪車の駐輪場利用について	<p>市内で子育てをしております、双子を育てています。子育て支援は、白井さん御自身が市内でされているということで、気にかけてくださっている分野かなと思えますけれども、細々としたところでお金をかけなくても改善できるんじゃないかというところで、例えば、子どもを乗せた自転車が広く対応できるような駐輪場ですとか。私の場合は双子なので、3輪で、後ろに座席が2つついているタイプを使いたいと思ったんですけども、市営の駐輪場に3輪は駄目ですと断られてしまい、途方に暮れています。</p> <p>例えば駐輪場だと、武蔵小金井のまちづくりについてのパブリックコメントとかも拝見してまして、大規模な整備をお願いしますというような要望が出ていたりしたんですけども。大規模な整備をしなかったとしても、既存の駐輪場での対応も可能だと思います。でも、例えば3輪の場合だと、2輪と3輪で何か危険性が違うのかとか、スペースもそんなに変わらないのに何で3輪だけ駄目なのかとか、ちょっと納得していない部分もありますので、そういった細かいところにも目をかけていただけたら嬉しいです。</p>	<p>大変申し訳ないです。双子乗せの自転車については対応ができていないということなので、これについては担当と話をしてみます。そんなに大規模にやる必要はないと思いますので、どういうことができるか考えたいと思います。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
9	市の収入を増やす方法について	<p>お金という部分を、先ほどから皆さん気にされています。実際問題になっているところだと思うので、お金を改善するためにはコストを減らすか収入を増やすかどちらしかない。コストを減らすということは、その事業の見直しというところで進めていただいていると思うんですけども。収入を増やすというところについては、何か今後大きなアイデアがあるのかというところ。ふるさと納税について、白井さんが問題視というか注目されている部分かと思うんですけども、その収入のところについて何かあれば伺いたいです。</p>	<p>市長からの回答等</p> <p>収入を増やす点について短期的には、個人的にどうかとは思いますが、やはりふるさと納税は何か活用できないかと思っています。ただ、やはり物産がないのは小金井市の課題なので、何を売りにするのかと頭を悩ましていますが、私なりのアイデアがあるので、色々検討したいです。</p> <p>あともう一つ、これはふるさと納税と被る部分もあるんですけど、寄附を増やしたいと思っています。プロジェクト型になるかもしれないんですが、いわゆるガバメントクラウドファンディングというのがあって、それをやるのか、もしくは、それに準じた別の形でやるのかということも、まだアイデアですけども、私としては、思っているところもある。</p> <p>あと、中長期的には、やはりまちづくりをどう進めるかということです。住む方が増えて、納めていただく税金をどう増やすかということです。まちの魅力をどう高めてそれを増やすことができるのかということも1つ、中長期的にはやり続けなければならないことです。</p> <p>ただ、今、1つ予定しているのが、武蔵小金井駅北口の再開発です。これは市の事業じゃなくて、組合施行という形で地元の地権者の方々が計画をして、市は支援をするという形です。それによって、後々、そこにおける収入、所得税や固定資産税が増えるということにも繋がりますし、まちの魅力が高まることによって、例えば商業施設ができたりもします。そこでお金を落としていただくという、そういう開発的なまちづくりもあります。</p> <p>あともう一つは、この小金井の特徴をもっと明確にしたほうが良いと思っています。そこに短期的にすぐお金が集まるとは思っていないんですけども、大切なのは、人が集まることだと思っています。私は、専門的な人やそこに興味を持った人が集まることによってできる魅力づくりというのがあると思っています。まだアイデアレベルなので具体的に申し上げられませんが、今はそういう種を撒いているところです。</p> <p>あと、資産をどこまで最大限活用できるかということも、実は考えています。今使っていない土地や、市の建物で、例えばここで収入を得ることができないかとか。総じて「稼ぐ」ということを、行政としても考えていく文化をつくっていきたいと思います。そういう短期的・中長期的に行政の仕組みとしてできることを、これから組み立てていきたいと思っています。</p> <p>ちょっとあやふやで申し訳ないですけども、そこはやはりずっと問われているところがございますので、減らすということも含めて、いかに財政を安定化させるかというのは大きな課題だと思っていますので、取り組んでいきたいと思っています。</p>
10	子どもへの金融教育について	<p>個人的で恐縮ですが、今、ファイナンシャルプランナーというお仕事をしていて、金融機関に属さない中立、公正的な立場でのお仕事をしております。N I S Aが始まって2か月たちましたが、やはり大人の方からも、まだまだN I S Aについて言われるような現状でございます。それで、やはり子どものうちから、投資教育というところをしっかりと推進してまいりたいと考えているんです。</p> <p>既に文京区は非常に力を入れていて、コロケを誰が1番高く売れるかといったゲームも導入していますが、やっぱりここに住んでいる小金井の方々、小金井の子どもたちに対しても、この金融教育をしっかりと推進していきたいと考えているんです。ただ、どのようにしていったらいいのかが分からないので、その点についてアドバイス、御意見など頂けると嬉しく思います。</p>	<p>子供のうちからの資産形成の教育の必要性は、例えば議会でも、そういう提案等もされてきた経過があると記憶しております。</p> <p>教育の分野ですので、私が教育委員会を飛び越して、あまり好き勝手には言えないんですけども、その必要性というのは、私も情報としては得ているところなんです。</p> <p>どういうふうに進められるかという話ですが、教育委員会にアプローチしていただくしかないです。例えば、総合学習の時間なのか、どういうタイミングなのかは分かりませんが、そういうところ、こういう子供に対する教育のお手伝いができますというのを言っていただければ、必要性やニーズがあれば、マッチングできるんじゃないかと思っています。</p> <p>ただ、個人で行ってもなかなか話にならないケースがありますので、何かそういう団体とか…。この間、市内の中学校で、社会保険労務士の団体の方々が、中学3年生向けに働くってどういうこと、という授業をやっていて、1時間だけ見学に行きました。この授業も、社会保険労務士の団体の方々と教育委員会とが調整をして、そういう授業を専門家の立場でやってくださいという話になったわけで、その方が多分スムーズじゃないかとは思っています。すぐできるかどうかは分かりませんが、そういう団体とかがあるのであれば、教育委員会の方に一旦問合せいただくと良いと思います。もしどこかでやっているとか、そういう参考の事例があると話がしやすいかもしれません。そういう観点で取り組んでいただければと思います。</p>
11	市町村合併について	<p>平成の大合併で、もう地方は、昔のふるさとの名前がかなり無いという感じ。これは知らないだけで質問なのですが、小金井市には、何かこういう東京の市町村合併みたいな構想があるのでしょうか。できるだけ残してもらえたらと思っているんですけども。</p>	<p>市町村合併は、特に具体的な構想はないと認識しています。以前多摩地域で合併するときに、何か示された話があったようにも記憶していますが、どういう位置付けのものなのか私も存じ上げません。今、「そういう話があるか」というと無いです。というのと、合併の功罪というのがありまして、うまく融合できていない所もあるという話も聞きます。ですので、合併がいいかというとなかなか難しいですけども、私としては、この12万という規模というのは、市民同士の顔も見えない関係として、適正サイズじゃないかとは思っているところです。</p>